

▶ 北海道苫小牧市

株式会社豊月 フードD365双葉店

贈呈
理由ヒートポンプ空調・給湯システムの導入により、
店舗の省エネルギー・省コストを実現

フードD365双葉店



ビル用マルチエアコン室外機



業務用エコキュート室外機



業務用エコキュート貯湯タンク

店舗の建て替えにともない
オール電化システムを採用

今年、創業70周年を迎える株式会社豊月は、スーパーマーケットブランド「フードD365」を、本部のある苫小牧市をはじめ札幌市内や近郊など13店舗を展開。食品販売の仕事を通じて人生を楽しみ、社会に貢献することを企業理念として、地域に密着した店づくりを目指している。

店頭では地元で水揚げされた魚介類や地元農家の朝採れ野菜など、鮮度の高い生鮮商品を充実させる他、一部のコーナーでは昔ながらの対面販売を実施。一方、高質路線の店舗ではホテルで修行したシェフを招へいし、シェフ監修の惣菜メニューを販売するなど多様化する消費者ニーズにバランスよく対応している。

「フードD365双葉店」は同社がディスカウント戦略をはじめた最初の店舗である。以降、全店を品質重視の業態に変更したものの、消費者の価格志向が高まっていることに加え、店舗の老朽化や狭隘化により建て替えが必要となり、再びディスカウント路線に回帰する

タイミングにあわせた改築となった。

新店舗の建設は隣地を取得することで既存店舗よりも大幅に増床された。建物の熱源はこれまでと同様に環境性や経済性だけでなく、メンテナンス性にも優れたシステムが求められることから、今回もヒートポンプ主体によるオール電化システムが採用された。

ランニングコストの低減、
火災リスクの軽減に貢献

これにより電力会社のオール電化割引の適用によるランニングコストの低減だけでなく、燃烧式熱源をまったく持たないことで、燃料の補給や管理も不要となり、火災のリスクや機器のメンテナンスも軽減された。

空調システムについては、これまでの店舗と同様に寒冷地仕様のビル用マルチエアコンが採用され、特に厳冬の暖房は売場の通路やレジ回りを中心に素早く暖められることで、買い物客だけでなくチェッカーや品出しを行うスタッフも快適に過ごせる環境となっている。

また、店内調理や下処理、清掃や手洗いなど、大量のお湯が必要となる給湯システムには寒冷地仕様の業務用エ

コキュートを採用。屋内設置の貯湯タンクは店舗の運営に影響しないバックヤードのデッドスペースを有効活用。厳冬期でも高温かつ十分な湯量確保している。

店舗名の「365」には、毎日がロープライスという意味が込められており、ヒートポンプシステムの採用は、店舗運営のコストダウンに応えるシステムとして、これからも高効率で安定した運転を続けていく。



店内の鮮魚コーナーには、地元で水揚げされた魚介類が並び

フードD365双葉店

所在地：北海道苫小牧市双葉町2丁目-18-1
建築設計：株式会社サイト
建築施工：株式会社ハザマ 札幌支店
設備施工：三機工業株式会社 北海道支店
延床面積：2,360㎡
竣工：2017年7月新設

■ 設備概要

ビル用マルチエアコン 45kW×2台、40kW×1台
28kW×2台、22.4kW×2台
パッケージエアコン 16kW×1台 [日立アプライアンス]
業務用エコキュート 15kW×1台 [日立アプライアンス]
貯湯タンク 560L×3台